



# 2011年3月期 決算説明会資料



2011年5月19日  
リンテック株式会社

# 2011年3月期 連結業績の概要①

	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

売上高	212,733	189,348	23,385 (12.4%)
-----	---------	---------	-------------------

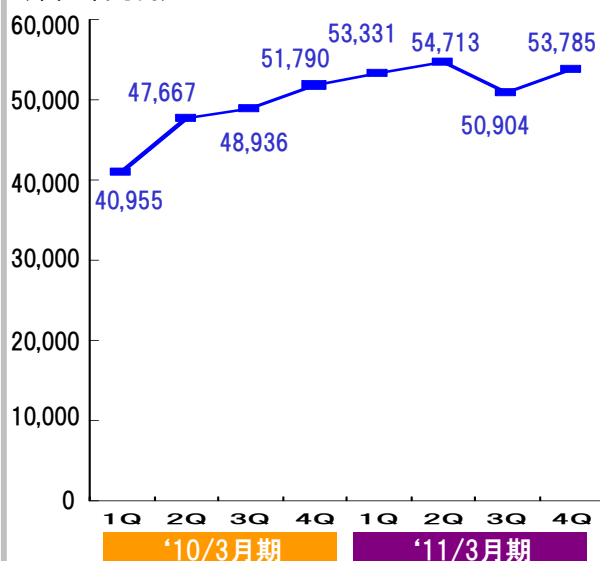
営業利益	20,889	11,576	9,313 (80.4%)
------	--------	--------	------------------

経常利益	19,520	11,300	8,220 (72.7%)
------	--------	--------	------------------

当期純利益	13,622	7,284	6,338 (87.0%)
-------	--------	-------	------------------

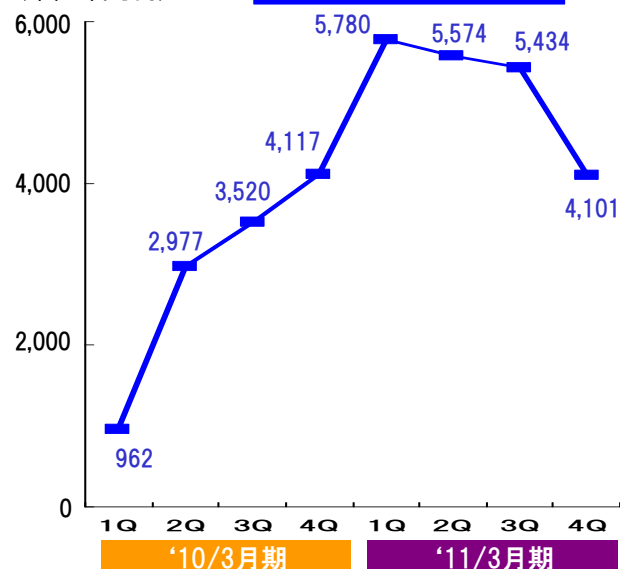
(単位:百万円)

## 売上高



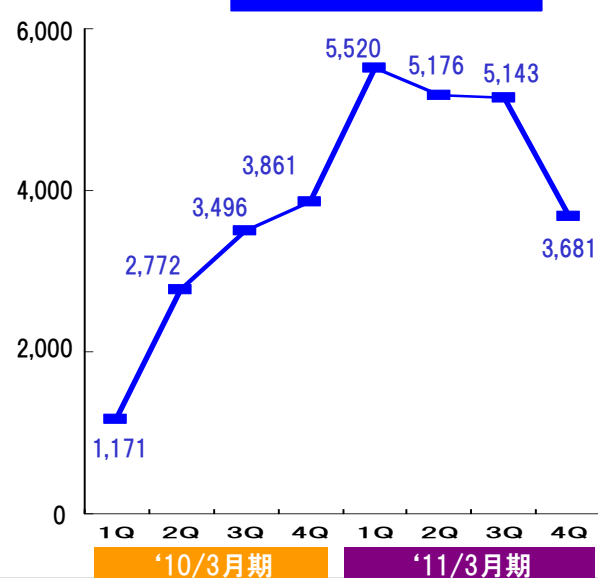
(単位:百万円)

## 営業利益



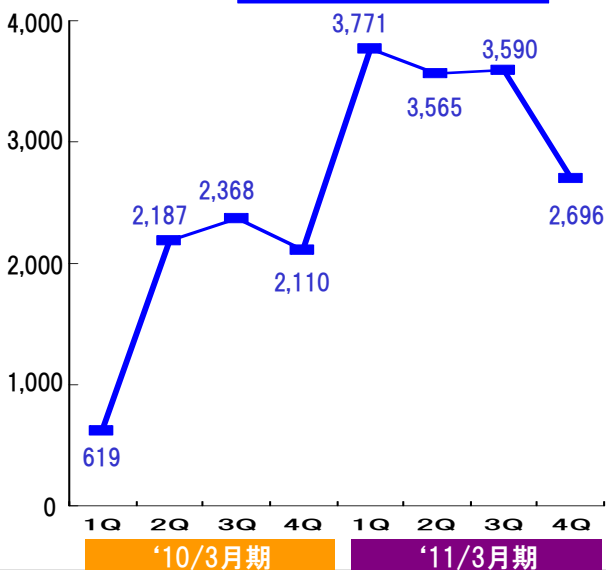
(単位:百万円)

## 経常利益



(単位:百万円)

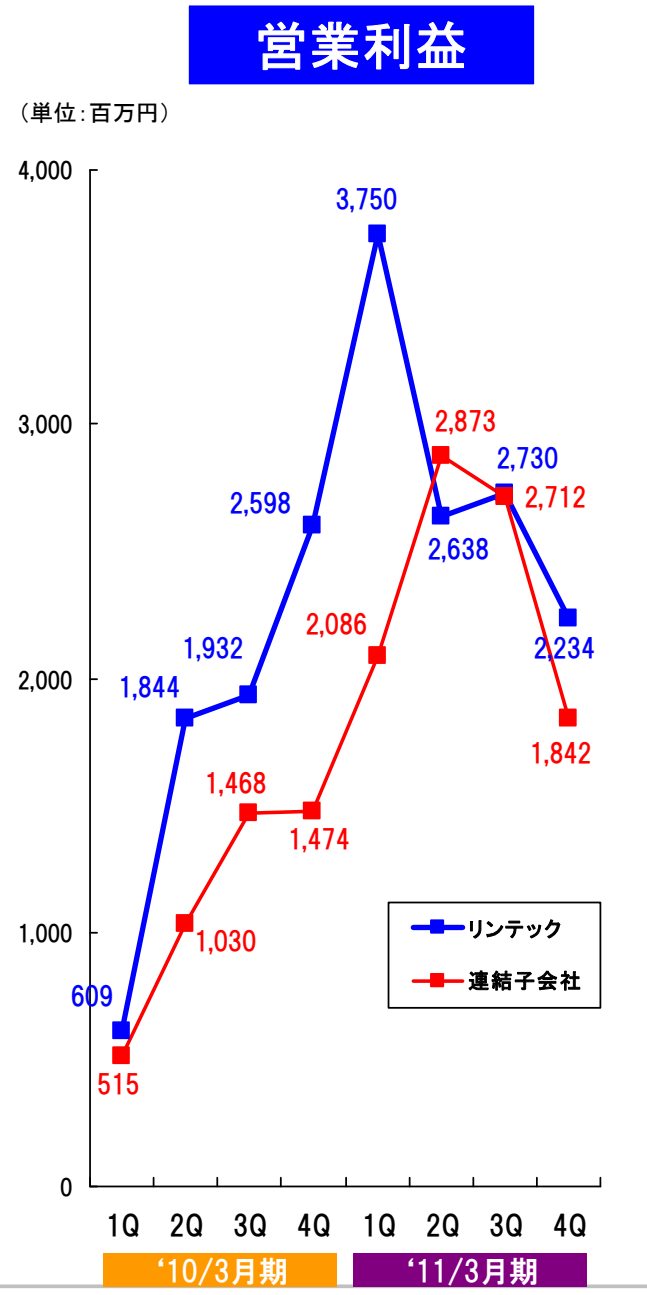
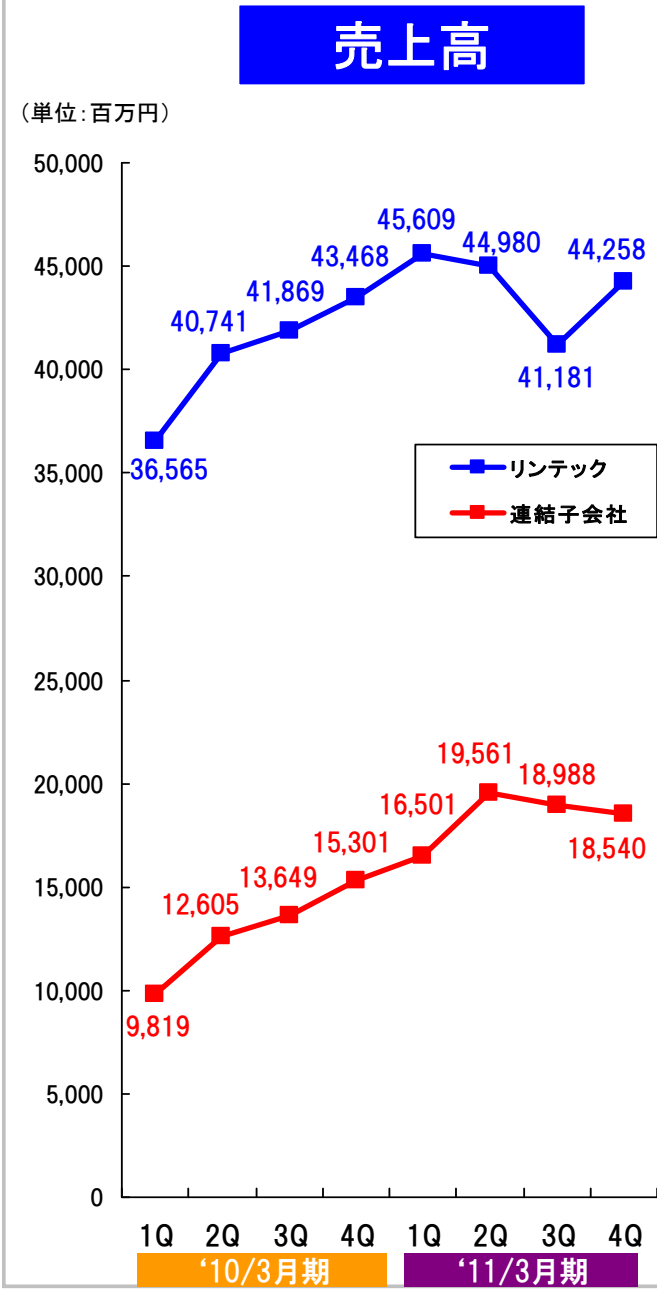
## 当期純利益



# 2011年3月期 連結業績の概要②

	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
<b>売上高</b> (単位:百万円)			
リンテック	176,028	162,643	13,385 (8.2%)
連結子会社	73,590	51,374	22,216 (43.2%)
消去	▲36,885	▲24,669	▲12,216
計	212,733	189,348	23,385 (12.4%)

	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
<b>営業利益</b> (単位:百万円)			
リンテック	11,352	6,983	4,369 (62.6%)
連結子会社	9,513	4,487	5,026 (112.0%)
消去	24	106	▲82
計	20,889	11,576	9,313 (80.4%)



## ➤ 売上高

### ● リンテック単体

液晶関連粘着製品が第2四半期後半から年末にかけて市場の調整局面の影響を受け前期比僅かに減少  
半導体関連製品、電子部品関連製品、合成皮革用や炭素繊維プリプレグ用の工程紙などが前期を大幅に上回る

### ● 連結子会社

期後半の円高進行に伴う円貨換算による目減り額 約22億円  
半導体関連の海外販売子会社において粘着製品および装置が好調  
マディコにおいて太陽電池用バックシートが大きく伸長  
中国、インド、インドネシアなどアジア地域において自動車用、家電用などの粘着製品が前期を大幅に上回る

## ➤ 営業利益

### ● リンテック単体

(増益要因)

増収効果 約79億円  
マシンの操業度アップによる効果 約9億円

(減益要因)

販売単価の下落 約19億円  
パルプや燃料価格の上昇 約10億円  
業績改善により人件費の減額解除  
などによる固定費の増加 約15億円

### ● 連結子会社

円貨換算による目減り額 約3億円  
半導体関連の海外販売子会社やマディコを中心に  
総じて売り上げが好調

【期中平均為替レート(実績)】

	( ' 10/3 )	( '11/3 )
円/US\$	93.72	→ 87.32
円/£-□	130.56	→ 115.09
円/WON	0.0738	→ 0.0753
円/中国元	13.70	→ 12.91
円/台湾\$	2.83	→ 2.78

# 2011年3月期 印刷材・産業工材関連の概要①

	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

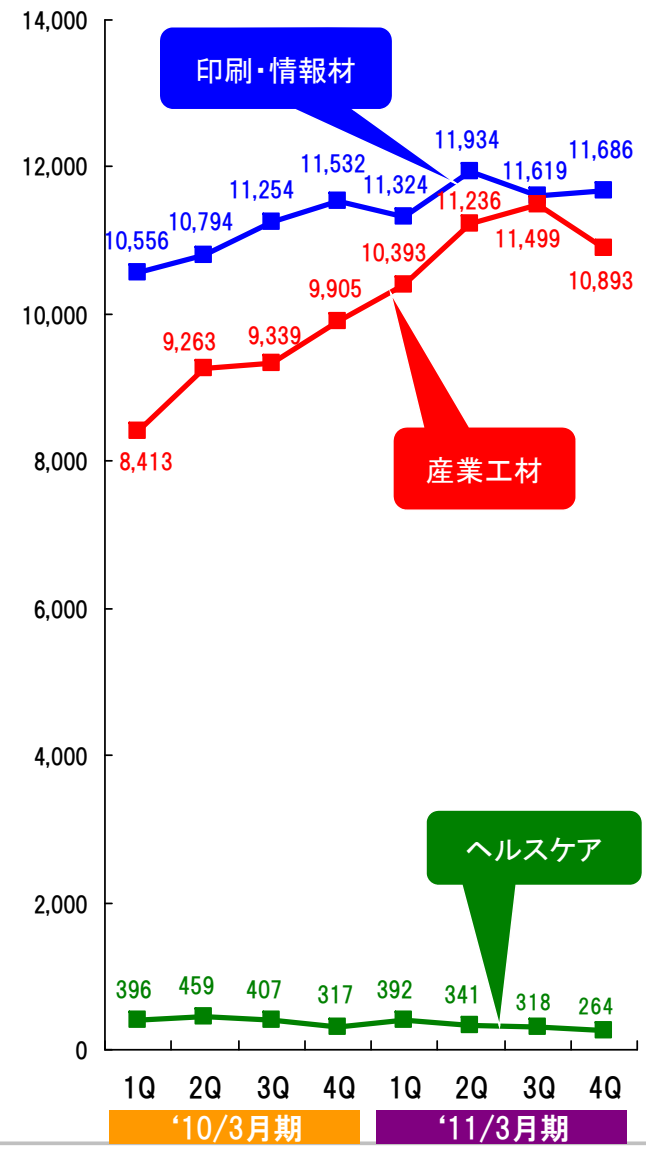
(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	46,563	44,136	2,427 (5.5%)
産業工材 事業部門	44,021	36,920	7,101 (19.2%)
ヘルスケア 事業部門	1,315	1,579	▲264 (▲16.7%)
売上高 合計	91,899	82,635	9,264 (11.2%)
営業利益	7,990	4,100*	— (—)

\*'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。

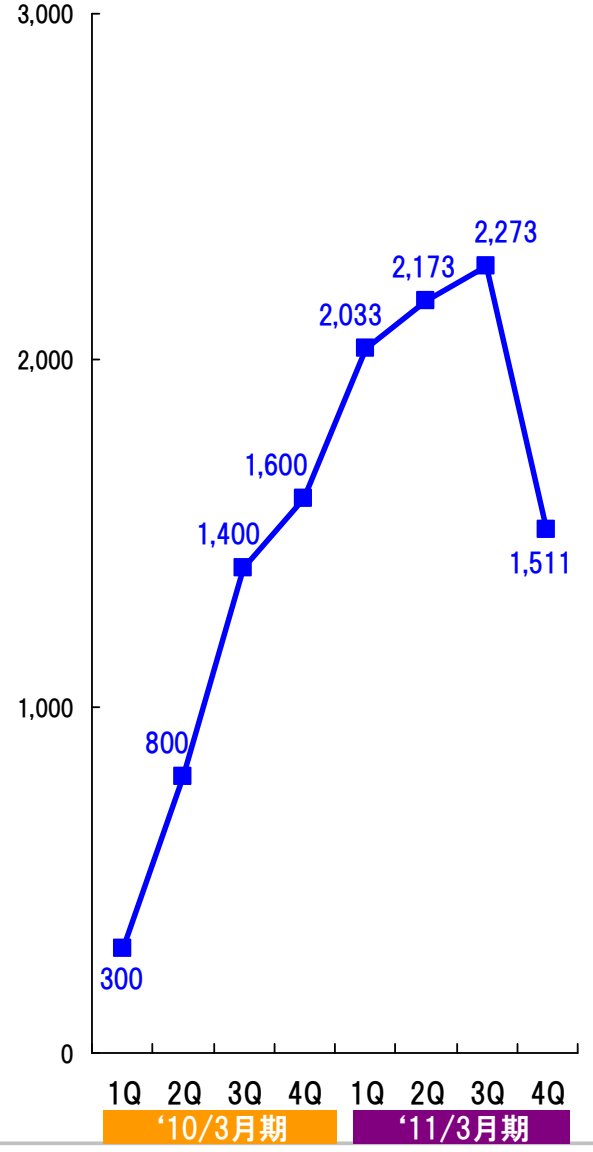
## 売上高

(単位:百万円)



## 営業利益

(単位:百万円)



## ➤ 印刷・情報材事業部門

国内：食品、医薬、家電用などで堅調に推移

海外：自動車、家電用などが中国やインド、インドネシア、タイなどを中心としたアジア地域で好調に推移

## ➤ 産業工材事業部門

太陽電池用バックシート：市場で高い評価を受け受注が旺盛

前期62億円→当期107億円（71%増）

2輪を含む自動車関連粘着製品が東南アジアや北米において好調に推移

## ➤ ヘルスケア事業部門

既存製品が落ち込み低調な推移

# 2011年3月期 電子・光学関連の概要①

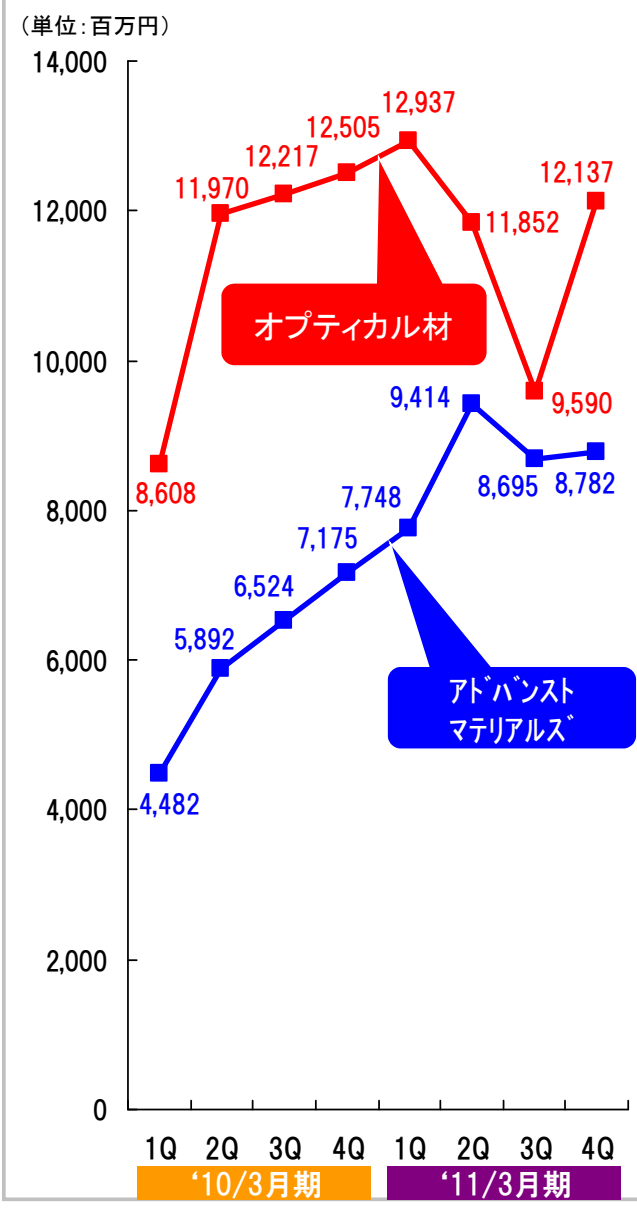
	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

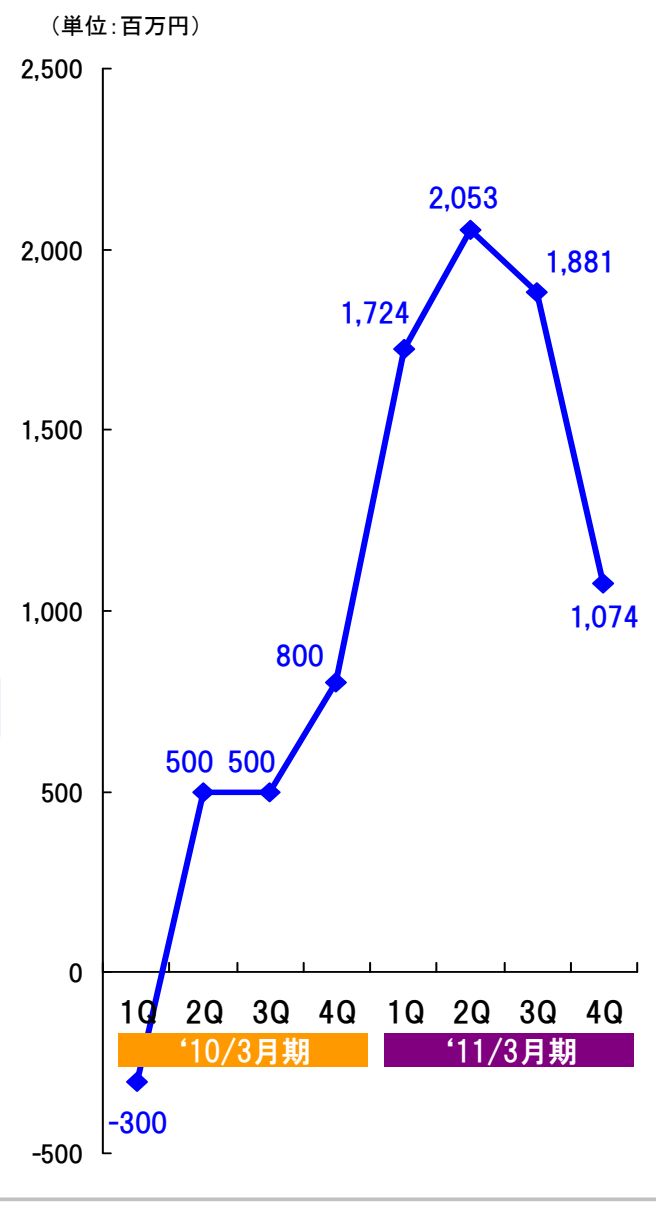
アドバンス マテリアルズ 事業部門	34,639	24,073	10,566 (43.9%)
オプティカル材 事業部門	46,516	45,300	1,216 (2.7%)
売上高 合計	81,155	69,373	11,782 (17.0%)
営業利益	6,732	1,500 <sup>※</sup>	— (—)

※'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。

## 売上高



## 営業利益



### ➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着製品：前期比 約22%の伸長

半導体関連装置：前期比 約3倍の伸長

MLCC用コートフィルム：前期比 約32%の伸長

### ➤ オプティカル材事業部門

夏場から秋口にかけて一時的に市場の調整局面の影響を受けるも、液晶テレビ用が底堅く推移  
スマートフォンなどの需要増加が販売数量を押し上げ



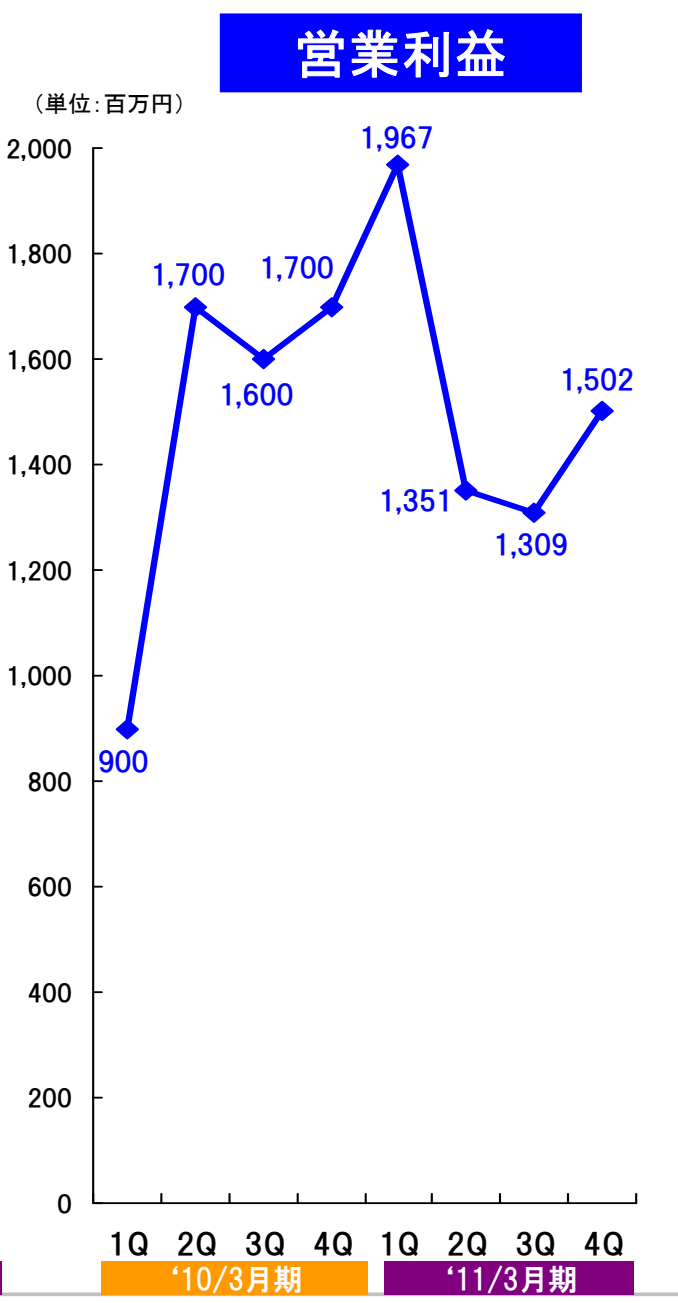
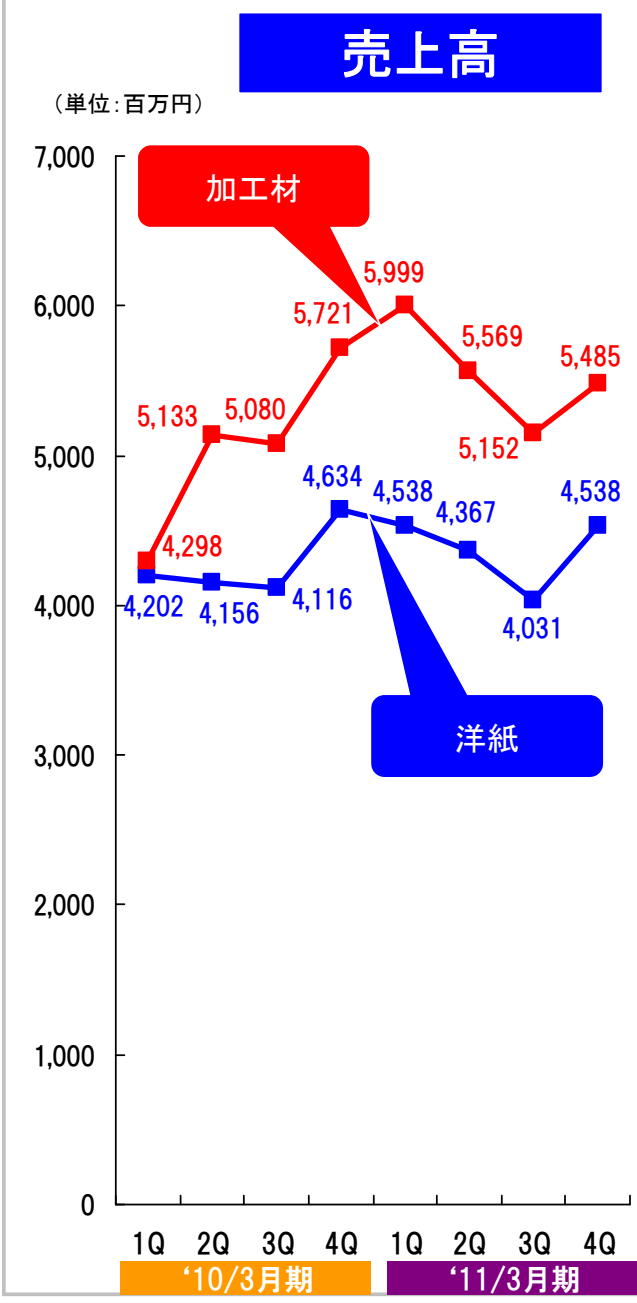
# 2011年3月期 洋紙・加工材関連の概要①

	'11/3月期 累計	'10/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	17,474	17,108	366 (2.1%)
加工材 事業部門	22,205	20,232	1,973 (9.8%)
売上高 合計	39,679	37,340	2,339 (6.3%)
営業利益	6,129	5,900 <sup>※</sup>	— (—)

※'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。



### ➤ 洋紙事業部門

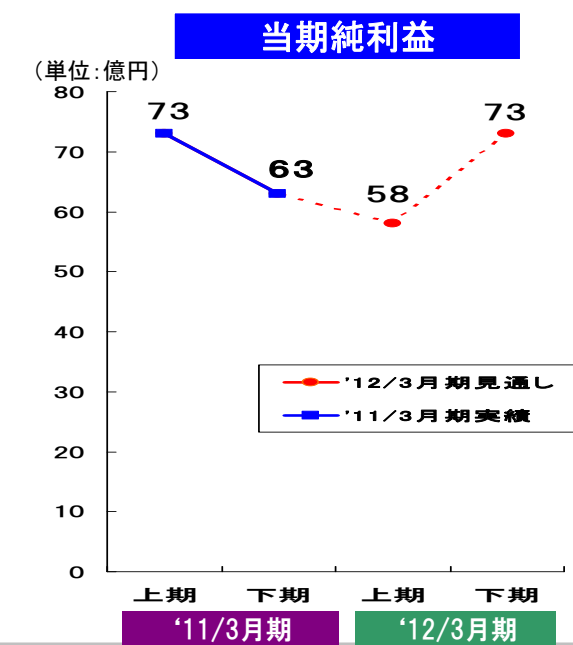
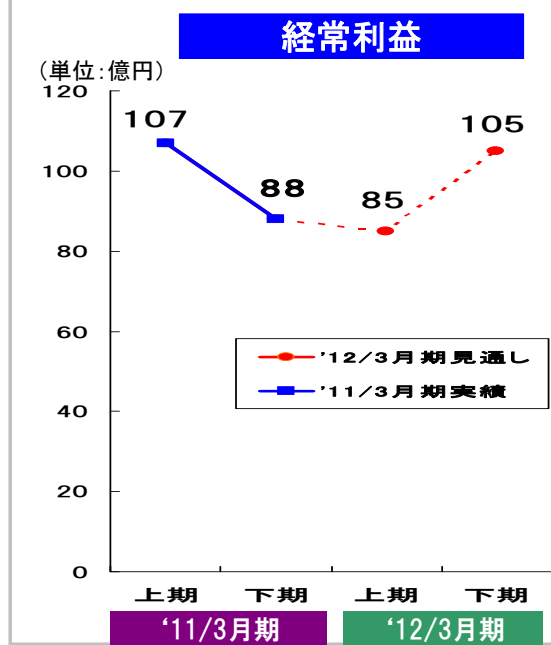
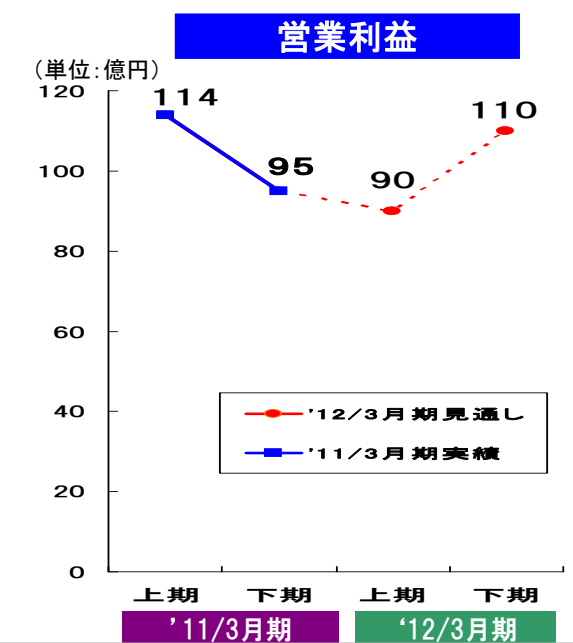
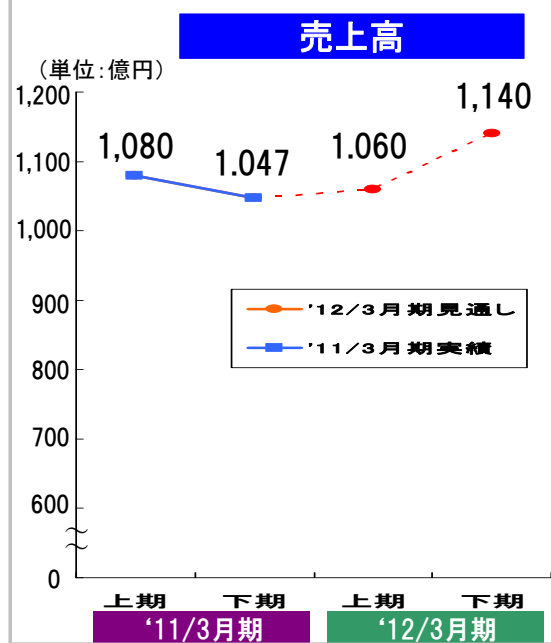
主力の封筒用紙は期前半には国勢調査用の特需があったものの、夏場以降、  
需要が低迷し前期比減少  
クリーンペーパーなどの工業用特殊紙の需要が回復

### ➤ 加工材事業部門

主力の剥離紙や光学関連用剥離フィルムは堅調  
合成皮革用や炭素繊維プリプレグ用の工程紙は好調

# 2012年3月期 連結業績の見通し①

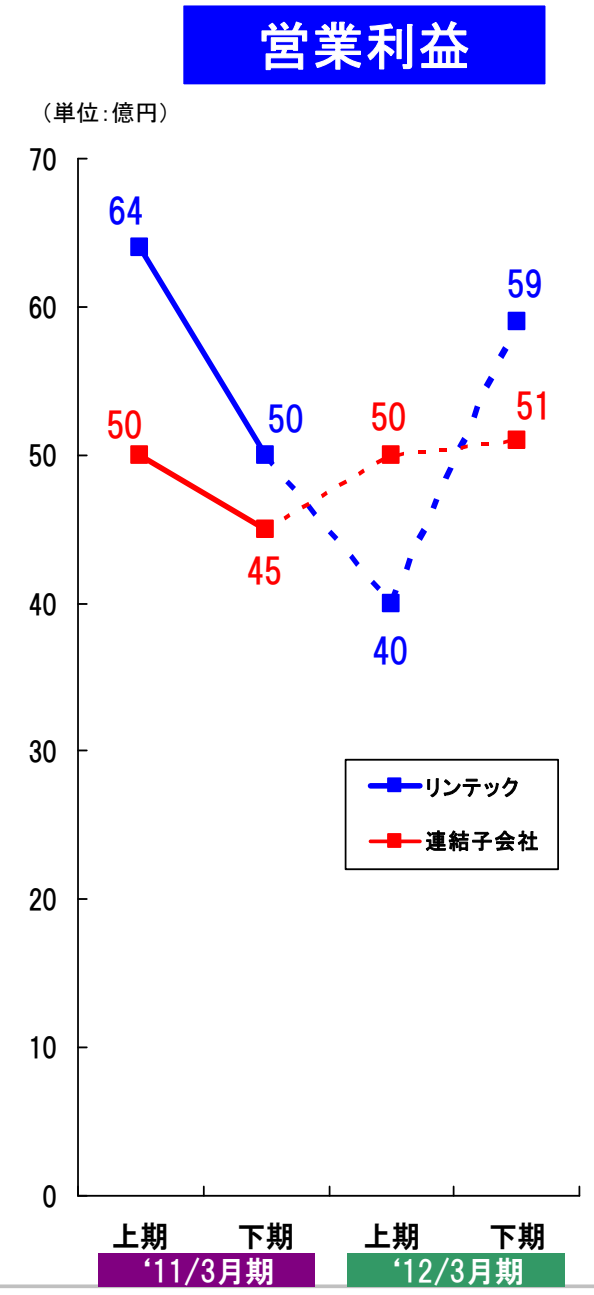
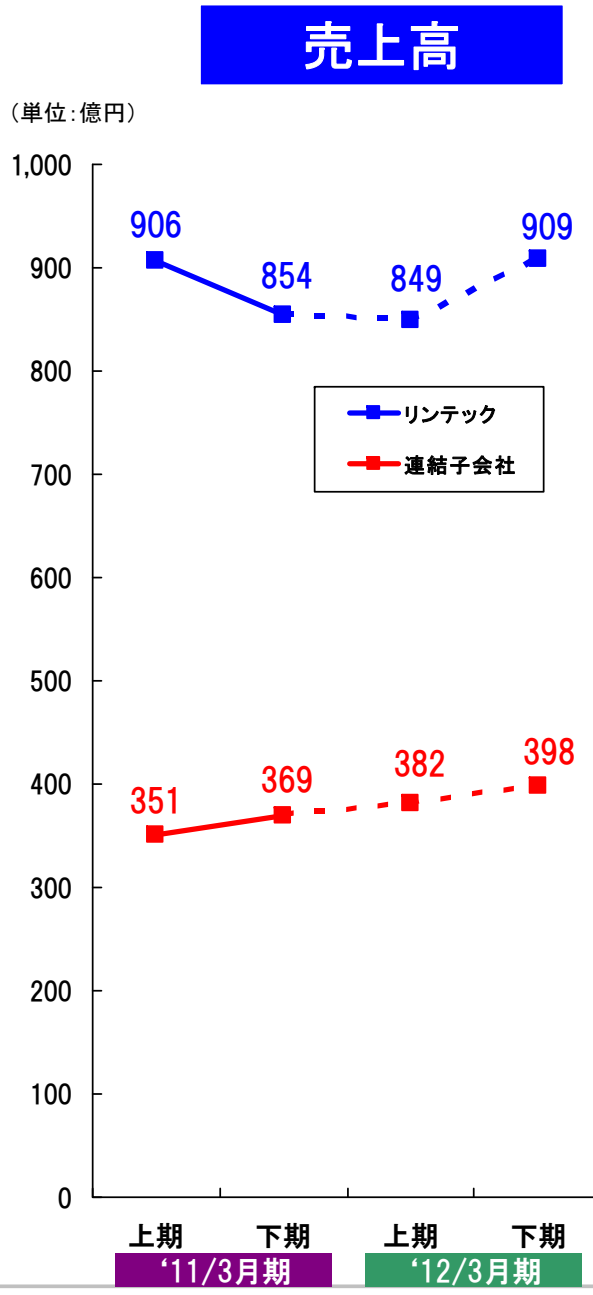
	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減	増減率
(単位:億円)				
売上高	2,200	2,127	73	3.4%
営業利益	200	209	▲9	▲4.3%
経常利益	190	195	▲5	▲2.7%
当期純利益	131	136	▲5	▲3.8%



# 2012年3月期 連結業績の見通し②

	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減 (増減率)
<b>売上高</b> (単位: 億円)			
リンテック	1,758	1,760	▲2 (▲0.1%)
連結子会社	780	720	60 (8.3%)
消去	▲338	▲353	15
計	2,200	2,127	73 (3.4%)

	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減 (増減率)
<b>営業利益</b> (単位: 億円)			
リンテック	99	114	▲15 (▲13.2%)
連結子会社	101	95	6 (6.3%)
消去	0	0	0
計	200	209	▲9 (▲4.3%)



## ➤ 売上高

### ● リンテック単体

上期は東日本大震災の影響による部品や石化原材料の供給懸念や電力不足問題が企業の生産活動に大きな支障を来たと予想

下期には企業努力や消費マインドの改善によって経済活動も正常化し、通期では前期並みを確保

### ● 連結子会社

アジア地域における新興国および成長国の需要増を意欲的に取り込む

太陽電池用バックシートも伸長するものと見込む

## ➤ 営業利益

### ● リンテック単体

(増益要因)

売上構成の変化など 約7億円  
生産部門での原価低減効果 約6億円

(減益要因)

原燃料価格の上昇 約20億円  
減価償却費などの固定費増加 約8億円

### ● 連結子会社

増収効果により増益を見込む

【期中平均為替レート】

	( ' 11/3 実績)	→	( '12/3 見込み)		( ' 11/3 実績)	→	( '12/3 見込み)
円/US\$	87.32	→	82.00	円/1-0	115.09	→	115.00
円/WON	0.0753	→	0.0730	円/中国元	12.91	→	12.50
円/台湾\$	2.78	→	2.70				

# 2012年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

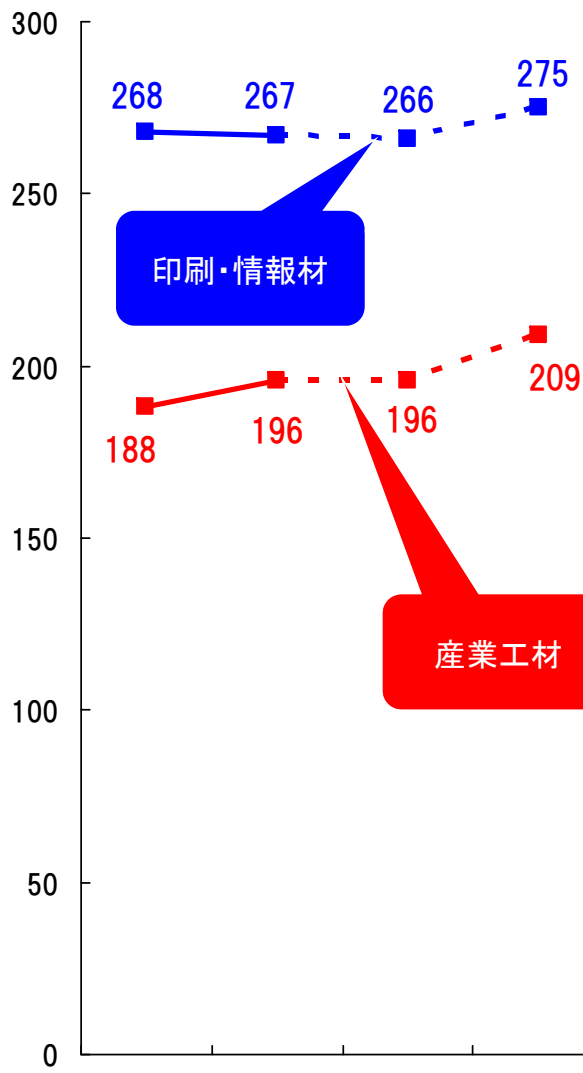
(単位:億円)

印刷・情報材 事業部門	541	535	6 (1.1%)
産業工材 事業部門	405	384	21 (5.5%)
売上高 合計	946	919	27 (2.9%)
営業利益	77	80	▲3 (▲3.8%)

※'11/4/1の組織変更でヘルスケア事業部門は印刷・情報材事業部門へ統合しました。また、'11/4月より可変情報印字用ラベルサプライ製品などを産業工材事業部門から印刷・情報材事業部門へ移管しました。'11/3月期の実績は組み替えて記載しております。

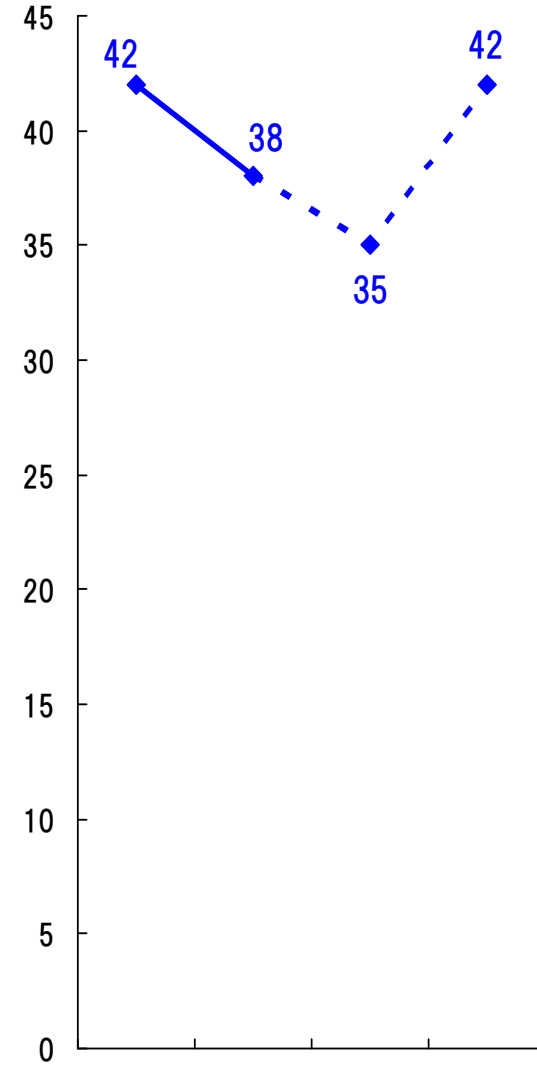
## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益

(単位:億円)



## ➤ 印刷・情報材事業部門

国内：市場の大きな成長は期待できないが、品質・コスト・デリバリー一面における競争力を強化し前期並みを確保

海外：中国や東南アジアを中心に堅調に推移

## ➤ 産業工材事業部門

太陽電池用バックシート：中国メーカーへの実績が大きく伸長

前期比約1.6億円増の1.23億円を見込む

2輪を含む自動車関連粘着製品：新興国市場で需要の増加を見込む

# 2012年3月期 電子・光学関連の見通し①

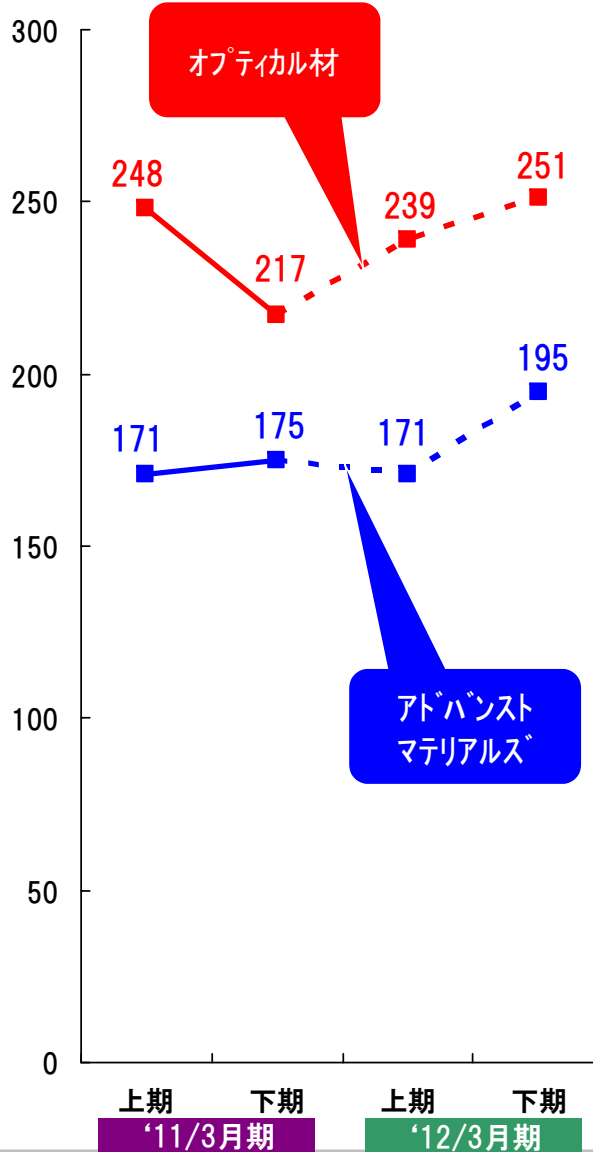
	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

(単位:億円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	366	346	20 (5.8%)
光学部材 事業部門	490	465	25 (5.4%)
売上高 合計	856	811	45 (5.5%)
営業利益	64	68	▲4 (▲5.9%)

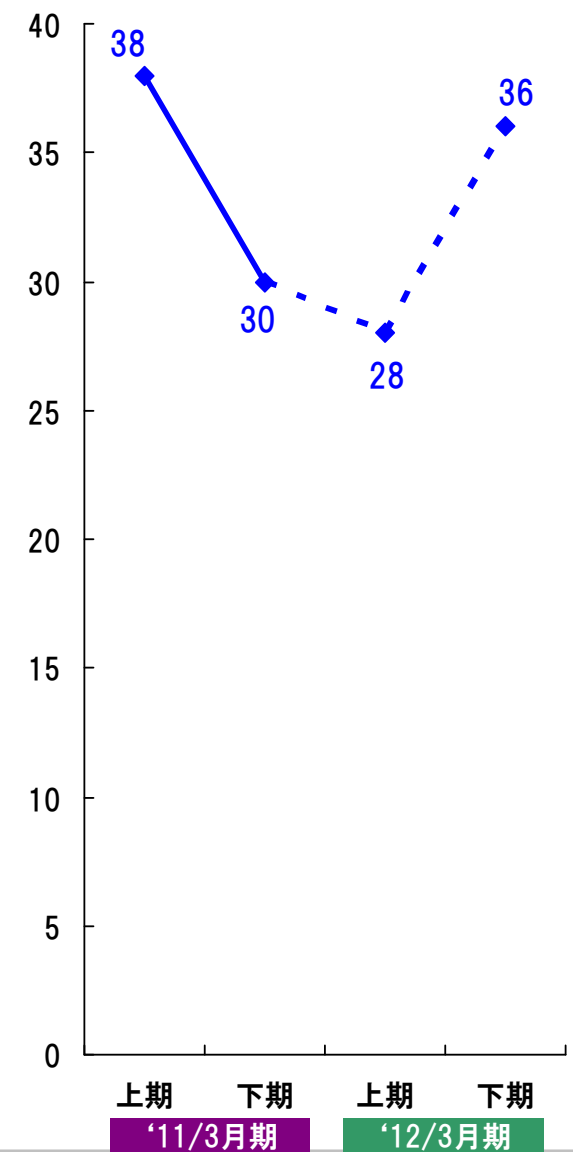
## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益

(単位:億円)





## ➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連装置：好調であった前期と比べ減少

半導体関連粘着製品：UV硬化型のバックグラインド用テープ、

ダイシング・ダイボンディングテープ、

LED生産プロセス用ダイシングテープ の拡販で装置の減少をカバー

MLCC用コートフィルム：旺盛なスマートフォン需要に牽引され好調に推移

## ➤ オプティカル材事業部門

テレビ用やスマートフォン用を中心に需要拡大

国内外で堅調に推移

# 2012年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	'12/3月期 見通し	'11/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

(単位:億円)

洋紙 事業部門	176	175	1 (0.6%)
------------	-----	-----	-------------

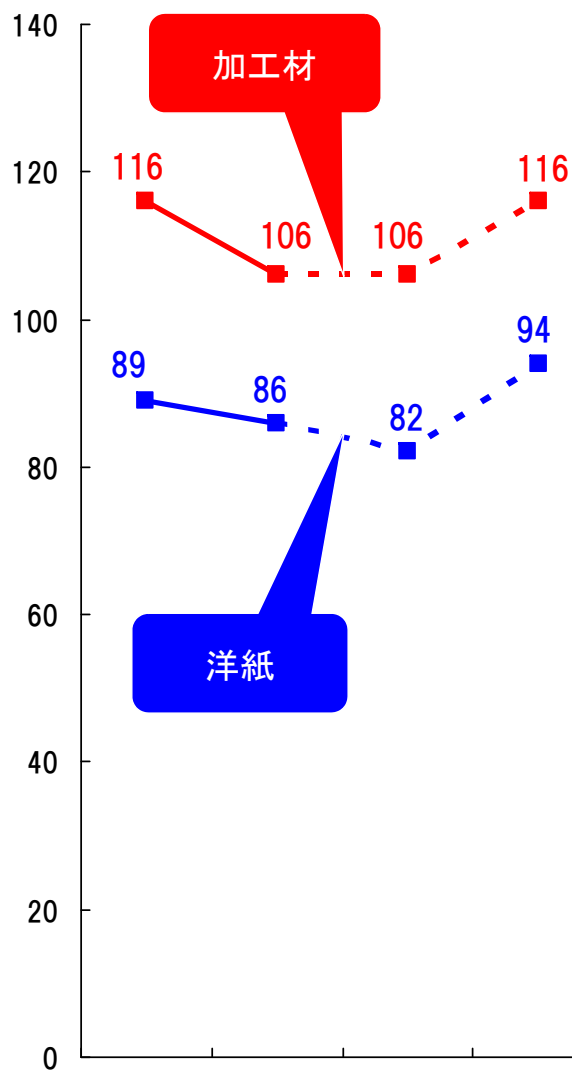
加工材 事業部門	222	222	0 (0.0%)
-------------	-----	-----	-------------

売上高 合計	398	397	1 (0.3%)
-----------	-----	-----	-------------

営業利益	59	61	▲2 (▲3.3%)
------	----	----	---------------

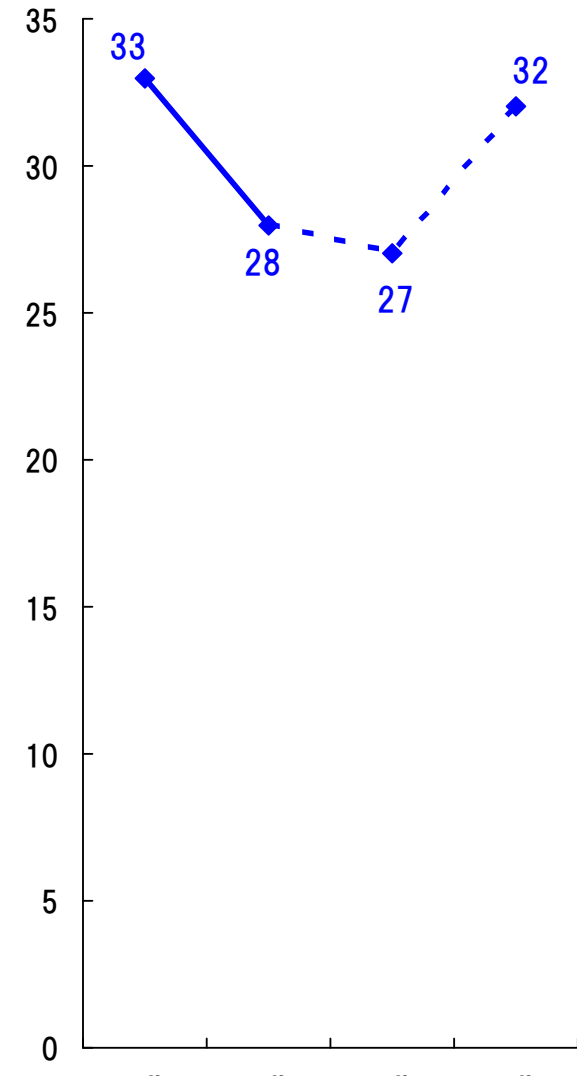
## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益

(単位:億円)



### ➤ 洋紙事業部門

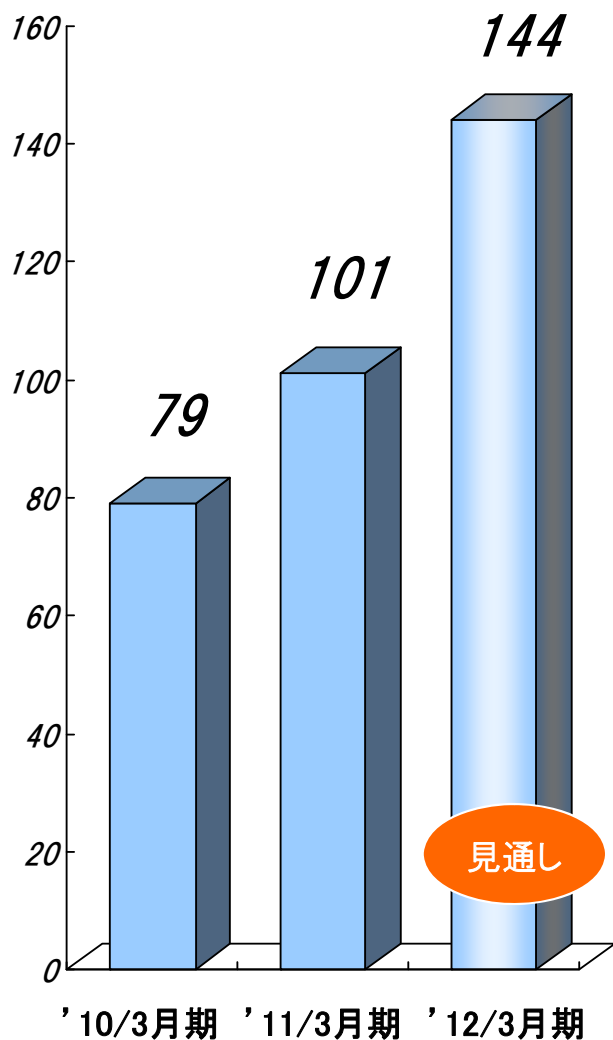
主力の封筒用紙の需要が今後も僅かに減少  
隠蔽性を付与した封筒用紙や耐油耐水紙の拡販でカバー

### ➤ 加工材事業部門

光学関連用剥離フィルム、合成皮革用や炭素繊維プリプレグ用の工程紙が堅調に推移  
主力の剥離紙は需要減少

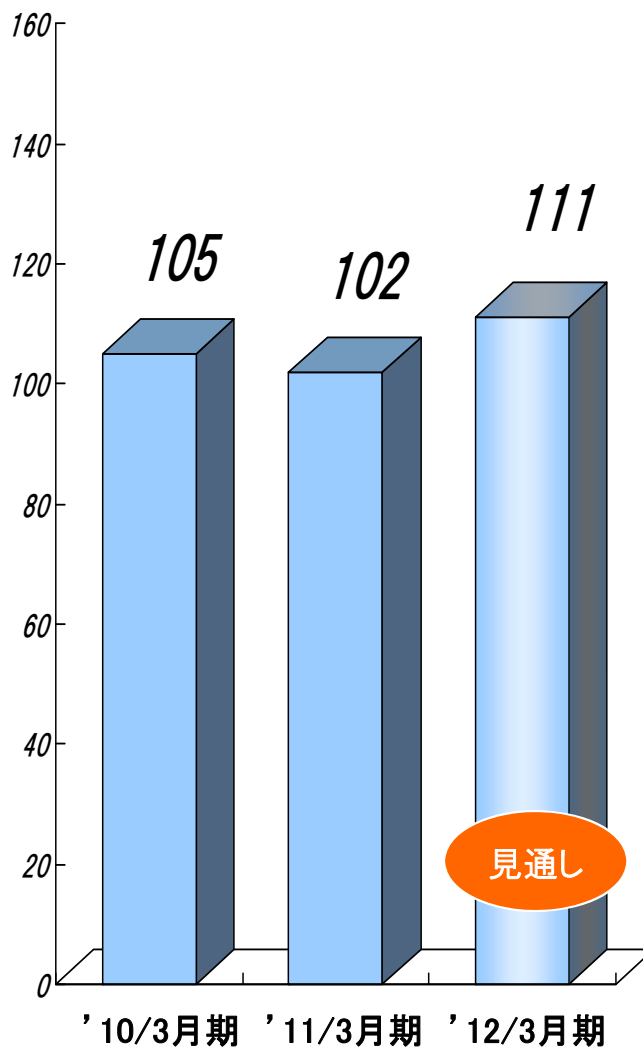
設備投資額

(単位:億円)



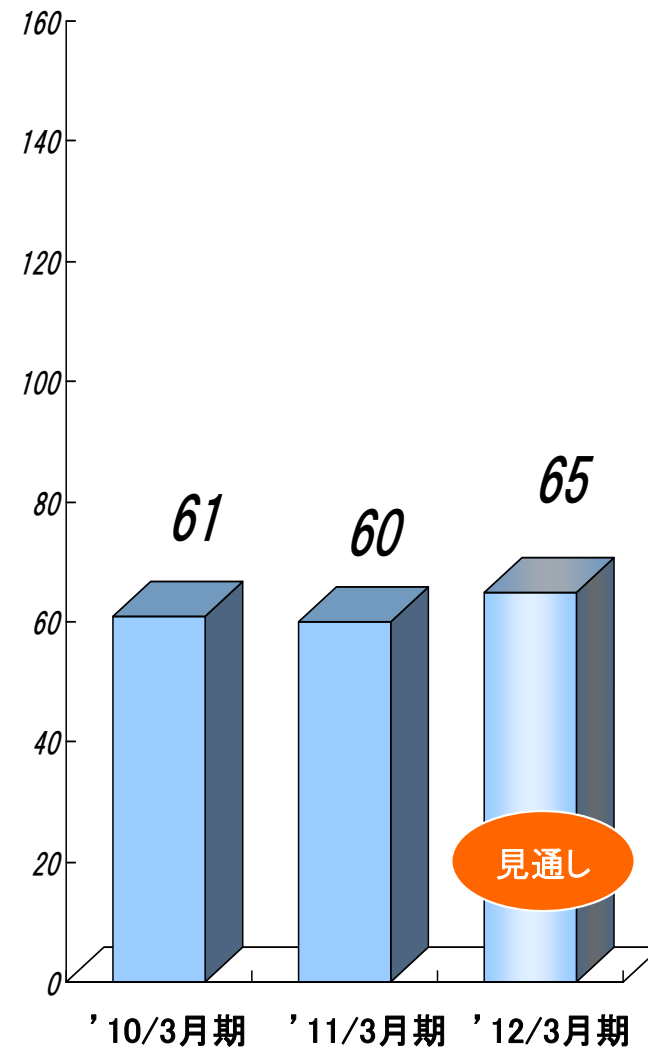
減価償却費

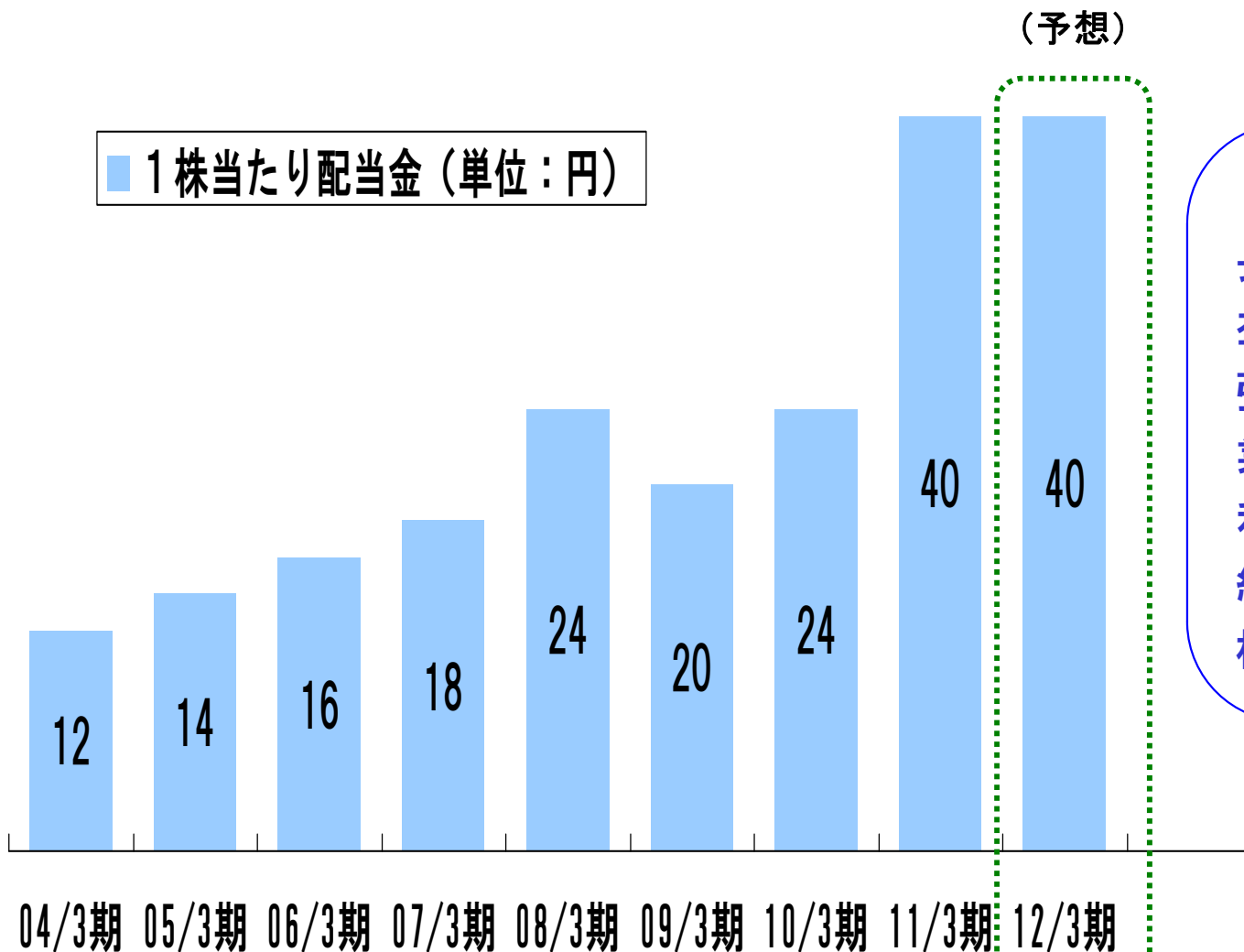
(単位:億円)



研究開発費

(単位:億円)





## (基本方針)

長期的視野に立った事業収益の拡大並びに財務体質の強化を図るとともに、連結業績を考慮した配当を実施。利益還元の指標として、連結配当性向20%程度を目標とする。

当期純利益(億円)	72.8	136.2	131.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	173.30
連結配当性向(%)	24.9	22.2	23.1

## 本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。